

野生のカバ

在ルワンダ日本国大使館
(ブルンジ兼轄)

ブルンジの国章にはライオンの顔が描かれていますが、ブルンジの人たちにとって身近な野生動物は実はカバです。タンガニーカ湖に面した首都ブジュンブラには、野生のカバが生息しています。昼間は湖畔に岩のようにたたずんでいるおとなしいカバたちも、夜になると湖から這い上がり、車道を時速 60 キロという自動車並みの俊足で駆け抜けるのだとか。湖畔のホテルで朝食を取っていると、水面に浮かぶカバたちを間近で見られるかもしれません。ただし、見かけによらず凶暴なので、くれぐれも彼らのランチの邪魔はしないようにしてあげてください。



タンガニーカ湖から顔を出す二頭のカバ。



湖畔のホテルからは間近にカバの姿を見ることができる。

(写真中央に見えるのがカバ)

(了)